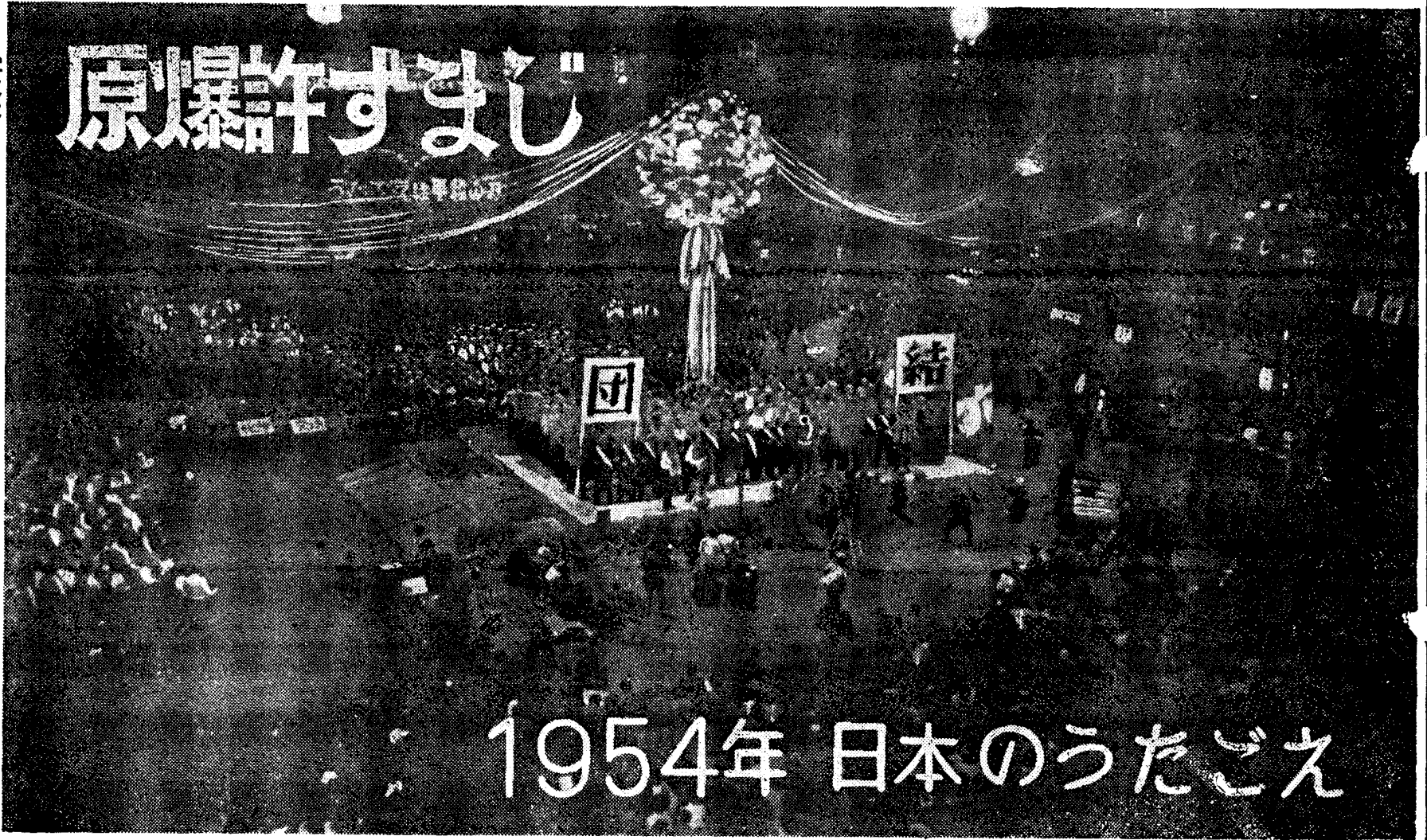


# 原爆許すまじ

写真は、第三回大会のうたごえ中央共同デスクに集った参加者の労働者



## 1954年 日本のうたごえ

**中央共同デスクうたごえ新聞**

編集・発行  
中央機関紙  
共同デスク  
日本のうたごえ  
実行委員会

連絡所  
東京都港区芝  
宿町2の100  
機関紙懇談会  
東京都千代田区  
丸の内都庁内  
日本機関紙協会  
東京都新宿区西  
大久保3の67  
音楽センター  
1部10円 78円

### 仲間がこんなだった

#### がっちりくんで国民大行進

「原爆許すまじ・一九五四年日本のうたごえ」は十一月廿七日から三日間、東京の共立講堂(一、二日目)、東京体育館(三日目)でひらかれ、のべ三万の大合唱は、日本のすみすみから世界の果てまでとどけとひびきわたった。

集ったなかまたちは、北海道から九州、沖縄におよび、労働者、農民、学生、主婦、子ども、国民各階層にわたり、一、二、三日各三千五百人、三日目は二万五千人に達した。この町から、も村からも工場からも、参加者はタンとふえた。昨年は東京をのぞいて地方参加者は約六百名だったが、ことは七千六百名で、平均十三倍だ。

#### この感激を職場へ村へ

この大成功をおさめたものは、幾百、幾千万の国民の平和のうたごえの力だ。

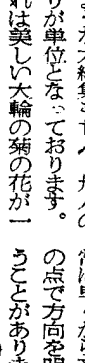
農民も漁民も主婦も学生も、と厚いいらしなからのカンパに送られて参加し「日本のうたごえ」の感激をもうひと町や村や工場へもちかえった。

#### 目立つ職場や農村の創作

この大成功をおさめたものは、幾百、幾千万の国民の平和のうたごえの力だ。

## 世界びびり平和のうたごえ

うたごえがすばらしい発展したとあれもがうたごえですが、この大きな大結集も廿八、廿九人の集りが単位となり、廿八、廿九人の集りが単位となり、廿八、廿九人の集りが単位となり...



なぞそう思う。国の民謡を普及し、各国の労働者歌をとりあげ、進んだソングをついでいます。ですから「民族独立行脚の歌」は生活必需品となり「原爆許すまじ」の歌は期せずして久保山さんの弾の歌、強いつよの歌と結合して、それと同時に前進していると考えておられます。

#### 日本のうたごえ 実行委員長 関鑑子



「うたごえは平和の力」というが、うたごえは平和を願う力にならなければならないことを私達は忘れてはならない(参議院議員)

「うたごえは平和の力」というが、うたごえは平和を願う力にならなければならないことを私達は忘れてはならない(参議院議員)

かけつけた七十人の組織の皆さんは「泣いたが抵抗ではない友よもう泣かないよ」と切々と訴える。京都西陣の「どんぐり合唱団」は古くはきたりのなかで十一時間もはたらく西陣織の労働者に「大きな声でうたおうまちがいでかましまへん」とよびかけて、片道の汽車賃だけあつめて上京した。電車の二百名のなかには、組合幹部の妨害をかって「個人の資格」で参加した者も多かった。

農民も漁民も主婦も学生も、と厚いいらしなからのカンパに送られて参加し「日本のうたごえ」の感激をもうひと町や村や工場へもちかえった。

この「うたごえ」では、どの地方の代表も、じぶんたちで創りだした歌をうたった。基地取り上げ反対、電源開発、自由になんてやらせろ、ミチエリン法、古墳の発掘など、生活と権利と、平和と独立をまもるためののなから、新しい文化を創造している。その中心に労働者が座っている。すばらしい発展だ。また、電燈や近江橋系、日鋼製鋼、日産自動車、山梨中央銀行のように、たまたかのなかで組合が二つも三つにもわかれたが、うたごえは労働者を一つの心、一つの要求にむすびつけてきた統一する役目を果たしている。うたごえは平和の力でなくともは平和をかちとる力となってバック進んでいる。

なお会場では、日鋼製鋼と記録映画をつくる資金カンパが三日間で二十万円集った。

新しい文化の芽生え  
須藤 五郎氏

今年の「うたごえ」の特徴は、日本の民謡と新しい労働や生活をうたった歌が多いことだ。これは非常にいい傾向だ。新しい文化を労働者が中心になって作りだした大きな芽がでてきているのを感激と期待で育てて行きたい。